



③ 大火さいのあと
火さいのあと町の
ようすは、どのよ
うにかわっていつ
たのでしょうか。

④ 火災の様子（昭和31年4月17日午後7時頃^{ころ}火災^{はっせい}発生）

～郵便局^{ゆうびんきょく}がいち早くやけたため、外とのれんらくは全くできな
った。強風にあおられてメラメラともえ上がったほのおは、商店^{しょうてん}
や旅館^{りょかん}などが立ちならぶ目ぬき通りの中町を一なめにして、またた
くまに内町、上町をやきつくした。～郡内^{ぐんない}はもちろん郡山方面など
からかけつけた消防団^{しょうぼうだん}1500余名も手のほどこしようがないほど火の
いきおいがよかった。～町はあかいほのおをくぐってにげまどう
町民のおれでいっぱいとなり、町民はくすぶるもえ残った火をぼん
やりとながめ、言葉も出ないありさまであった。

（当時の福島民報^{みんぼう}）

⑤ 火災後のじゅうたくのけんちく

年	住 宅 の 種 類
昭31年	・公営住宅、 32戸
	・国営仮設住宅、72戸
	・県営住宅、 3戸
昭32年	・県営住宅、 9戸
昭39年	・公営住宅、 17戸

⑥ 火災後の道路^{どうろ}のかいりょう

道 路	は ば	延 長
郡山・標葉線	13m	675m
上野川・常葉線	8m	126m
常葉・柳渡戸線	8m	45m
中町・本坊線	8m	615m
中町・田和上線	6m	56m

【常葉町史による】